

1. 件名：伊方発電所原子炉施設保安規定変更認可申請（組織変更）に関する事業者ヒアリング（１）
2. 日時：令和２年１２月８日（火） １０時４５分～１１時３０分
3. 場所：原子力規制庁 ９階Ａ会議室（一部 TV 会議システムを利用）
4. 出席者（※・・・TV 会議システムによる出席）  
原子力規制庁  
原子力規制部  
審査グループ実用炉審査部門  
藤森安全管理調査官、塚部管理官補佐、櫻井安全審査官、宮本安全審査専門職  
  
四国電力株式会社 原子力部運営グループリーダー 他４名※
5. 自動文字起こし結果  
別紙のとおり  
※２音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
6. その他  
提出資料  
・伊方発電所原子炉施設保安規定変更認可申請書 審査資料

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	あ、規制庁サクライdそれではヒアリング始めます。
0:00:08	それでは組織変更に伴う変更といたしまして、四国電力の高橋から説明させていただきます。
0:00:17	まず資料構成ですが、通し番号右下 3 ページ、審査資料の通し番号右下 3 ページをご覧ください。
0:00:30	全体の資料構成といたしましては三つありまして、資料 1、組織の変更に伴う変更の概要書かれたパワーポイント資料、
0:00:39	PS74-1、保安規定審査基準の要求事項と保安規定各条文との対応。
0:00:47	PS74-2。
0:00:49	設置許可との整合資料になります。
0:00:52	本日は、資料 1 を中心にご説明させていただきます。
0:00:58	次のページ 4 ページをご覧ください。
0:01:05	こちらが資料 1、組織変更に伴う変更の資料となります。
0:01:09	次のページをご覧ください。
0:01:14	申請案件といたしましては、伊方発電長、2 号炉が廃止措置計画の認可を受け、3 号炉一基の運転となったことから、業務体制を見直し、伊方発電所における組織変更を行うため、保安規定変更認可申請をさせていただいております。
0:01:33	申請概要といたしましては、
0:01:35	定期事業者検査及び原子炉施設の補修改造作業における工程管理業務を実施する組織。
0:01:43	日、
0:01:45	並びに原子炉施設の系統管理業務を実施する組織をそれぞれ、業務内容は一部重なる組織と統合することとして、関連する保安規定条文の変更を実施しております。
0:01:58	保安規定変更箇所は下の四角枠の通りです。
0:02:03	次のページをご覧ください。
0:02:08	ここでは、
0:02:10	統合する組織について変更比較表を示しております。
0:02:14	一つ目として、工程管理課は、定検検査課へ統合され、
0:02:20	二つ目として、系統管理課は発電課当直へ統合されます。
0:02:26	この統合は、個別業務を定める保安規定第 4 章から第 9 章の実施項目に変更はなく、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:35	変更後組織の業務は変更前組織の必要な業務をそのまま引き継ぎ網羅することとなります。
0:02:44	次のページ 3 ページをご覧ください。
0:02:49	本定時は第 2 年の廃止措置段階の保安に関する組織であり、
0:02:55	変更箇所は、先ほど第 1 点の運転段階の組織と同様となります。
0:03:02	次ページ、右下 4 ページをご覧ください。
0:03:08	ここでは、工程管理課を定検検査課へ統合した場合の具体的な業務内容を説明しております。
0:03:16	下の表を見ていただきまして、
0:03:20	変更前といたしましては、左上に定検検査が所掌する業務として、保安規定に記載する業務内容とその具体的な業務内容が書かれております。
0:03:34	左下に工程管理課が所掌する業務内容を示しております。
0:03:41	この具体的な業務内容を見ていただきますと、
0:03:45	工程管理課は、運転、定検期間中の工程管理業務全般を実施しております。
0:03:54	定検検査課の具体的な業務内容の五つ目のボツにあります。
0:03:59	検査に係る工程管理は、工程管理課が実施している運転定検期間中の工程危機管理業務の一環となります。
0:04:10	そのため、評価を
0:04:12	統合することにより、
0:04:14	定期事業者検査時の工程管理業務を一元化することができ、
0:04:19	なおかつ原子炉施設の補修改造作業における工程完了にかかる業務を統合することで、工程管理業務全体を網羅した統合的な管理ができると考えております。
0:04:35	いや次のページの右下 5 ページをご覧ください。
0:04:41	ここでは、申請書にある変更比較表を示しております。
0:04:46	今回は業務の内容がそのまま統合されたことから、保安規定では変更前の 16 項の工程管理、
0:04:56	これが実施する業務内容の記載を、
0:05:00	変更後の 14 項定検検査課の業務内容にそのまま記載することで対応しております。
0:05:09	下の第 2 編についても同様です。
0:05:14	次のページ 6 ページをご覧ください。
0:05:21	ここでは、系統管理課を発電から発電当直へ統合した場合の具体的な業務内容を説明しております。
0:05:30	系統管理課が実施している。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:33	系統管理業務は、これまで発電が当直においても、通常業務の一部として実施しておりました。
0:05:41	具体的には隔離復旧の検討許可作業の実施が当たります。
0:05:46	この組織変更後は、これらを含めたすべての系統管理業務を発電課当直は所管することとなります。
0:05:56	3号機発電が当直に系統管理業務を統合することにより、
0:06:01	3号機の運転停止に伴い、
0:06:04	変化する系統状態を一元的に管理することができ、より確実に3号機の系統管理業務を遂行することができます。
0:06:14	12号機発電が当直に系統管理業務を統合することにより、
0:06:20	12号機の廃止措置段階ごとに変化する系統状態を一元的に管理することができ、より着実に廃止措置管理業務を遂行することはできます。
0:06:32	それでは次のページ右下7ページをご覧ください。
0:06:40	ここでは変更比較表を抜粋しております。
0:06:45	変更前の27項にある系統管理業務は、
0:06:50	これまで発電が当直においても、通常業務の一部として実施していたため、
0:06:56	変更後は25項の原子炉施設の運転に関する当直業務に含まれることとしております。
0:07:06	これは下の運転管理業務についても同様です。
0:07:10	エリアは次のページ8ページをご覧ください。
0:07:17	本ページは第2編の記載であり、第1編と同様であるため割愛させていただきます。
0:07:25	次のページをご覧ください。
0:07:31	本ページはその他の変更として、第五条第205条の保安に関する職務の変更に伴い、
0:07:39	第7条、第207条の伊方発電所安全運営委員会4項の下線部が変更となります。
0:07:49	最後に、
0:07:51	本ページの下にあります施工時期は、認可後、当社が定めた定める日から施行することとしております。
0:07:59	説明については以上となります。
0:08:11	はい、ありがとうございました。毛布導通GS01とPS
0:08:20	の方が
0:08:22	一応どんな資料かっていうのだけご説明いただけますか。
0:08:29	去年は高塚です。承知しました。まずPS-74-01に関してですが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:39	通しページの 16 ページをご覧ください。
0:08:45	本資料においては審査基準の要求事項と保安規定の各条文との対応を示しております。
0:08:53	次のページ 17 ページをご覧くださいと、
0:08:58	左側に保安規定の審査基準。
0:09:01	真ん中に保安規定の条文、
0:09:04	また今回申請に伴って変更する箇所の有無等概要について示しております。
0:09:13	ちょうど説明させていただきました各条文に関して、例えば 27 ページの下にあります第 4 条、第五条第 7 条に関しては変更がありということで、組織変更に伴う変更を記載しております。
0:09:30	以下同様となります。
0:09:38	きちっと
0:09:40	通しページ 1039 ページをご覧ください。
0:09:47	こちらが設置許可記載有無、保安規定変更等の整理表となります。
0:09:55	次のページに目次が書いてありますが、資料 1 といたしましては、第 1 点。
0:10:02	資料 2 といたしましては第 2 編の記載をしております。
0:10:06	通しページ 41 ページを見ていただきますと、
0:10:10	左側に変更後の保安規定の目次。
0:10:14	真ん中に設置許可記載有無。
0:10:18	横に保安規定変更有無。
0:10:21	一番右の列に説明を書かせていただいております。
0:10:27	今回変更となる箇所においては、保安規定の変更が丸となっております。
0:10:35	また変更の箇所が丸となっているところで、米印が書かれているところは、
0:10:41	組織変更とが変更反映した項番号のみの変更など、直接、設置許可に影響がないものの記載となっております。
0:10:54	例で言いますと、第 4 条判定に関する組織に関しては、設置設置許可の記載が本文 11 号と添付資料を添付資料 8 が提供します。
0:11:08	今回、設置許可本文添付書類 5 等添付書類 8 に記載がある保安規定記載は現組織に合わせて変更しており、
0:11:17	また本文 41 号において、組織の責任と権限を明確化する旨の記載をされているため、保安規定記載には整合していると考えております。
0:11:35	この具体的な
0:11:39	確認事項として、いたしまして通しページ 53 ページをご覧ください。
0:11:49	こちら一番左の列が保安規定の条文、こちら変更後の条文を記載しております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:56	真ん中の列が設置許可の記載事項を記載しております。
0:12:01	その整合性の確認した説明したとして、一番右の列に記載しております。
0:12:09	説明に関しては先ほど申した通りとなります。
0:12:13	説明は以上となります。
0:12:17	ありがとうございました。
0:12:20	規制庁サクライです。PowerPointからちょっと質問させていただきます。
0:12:27	パワーポイント
0:12:29	等ページとか 3 ページに今回の申請の主な内容として、
0:12:37	工程管理っていうのを提携検査課に
0:12:41	移管というか、して、系統管理カーテンを発電課、
0:12:48	当直、
0:12:49	発電課、
0:12:52	当直のところに移管すると、これ表だとかを見ると、もう中身沿って、
0:13:00	構内内容と人数ほぼほぼ、そのまま移動すると見えるんですけども、その職務内容等以降、
0:13:09	今平減ったりとかそういうことは、
0:13:13	ありますか。
0:13:15	K工程管理課はそのまま、定検中に移管というか、入るというか、っていう理解でよろしいですか。
0:13:26	四国電力の高塚です。その理解で問題ございません。
0:13:30	結果規制庁サクライですけど、系統管理課っていうのをそのまま発電課当直っていうところに入ると。
0:13:41	表現力高めるすいませんちょっと音声が途切れてしまってもう一度、
0:13:46	考えませんようにK同じ系統管理課っていうのも発電。
0:13:52	職員、
0:13:55	すると、人の色、
0:13:58	どう、
0:14:02	そのまま
0:14:04	同じようになつて移動するとか移管するという。
0:14:08	認識で合ってますか。
0:14:11	はい、おっしゃる通りそのまま移管する形となります。
0:14:15	四国電力の高塚です。以上です。はい、ありがとうございます。あともう 1 点ですけど、今回、品質マネジメント部、
0:14:25	こういった内容ということなんですけど例えば第 3 条のところとか、
0:14:33	何ていうか、場所の変更とかそこら辺を、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:37	同意ということですかね。
0:14:43	四国電力高塚です。おっしゃる通り、文書の変更はございません。
0:14:51	以上です。
0:15:02	原則ツカベ 4 ページはこれで、
0:15:06	確認したいんですが、3 条改正で、その検査の独立組織独立とか求められてるところもあると思うんですが、今回のこの当行はその検査の独立とかには直接関係ないという理解でよろしいですか。
0:15:32	直電力赤坂です。
0:15:36	今回の工程管理カーから定検使い業務を投稿したことによる検査の独立性に関しては、関係はないございません。その理由といたしましては、工程管理業務自体が
0:15:52	ですね。
0:15:55	工程を管理する業務となっております、検査の独立性を要求されているのは、品質規則上では、機器等を所管する部門に属する要員とその部門をここ
0:16:12	ダンパ、
0:16:12	機器等を所管する部分に属する要員となりますので、今回の工程管理の方は、影響はないと考えております。以上です。
0:16:21	生徒使われる。
0:16:23	わかりました。あとちょっと細かいことで 4 ページ目の
0:16:28	結構中のところでちょっと確認したいんですが、
0:16:32	これと
0:16:35	定検工程管理というのはもともと、
0:16:39	工程管理課がやってるように、
0:16:42	読める一方、上の具体的な業務内容を見ると、定検検査課も検査にかかる。
0:16:51	工程管理をしてるように見えるんですけど、1 として、三河その定検にあたって、どういう関係にあるんですか。
0:17:04	四国電力高塚です。おっしゃる通りです。それが／かなっていうところはあり御説明にもありました。一般して、業務の中で一貫
0:17:15	して実施しているところもございます。ただ、工程管理課としていたしましては、
0:17:22	小型工事などの全体の工程を管理していたりしますと、定検検査課に関しましては、検査業務全般をAhとして実施しております定期事業者検査内での工程管理等を実施しております。以上となります。
0:17:42	四国電力の中村でございます。ちょっとつけ足しますが、工程管理課というのは提携 60 日あるとすればそのおっきな 2 ヶ月の期間の各検査をどこに持っていくですとか、どういう検査をするかというのを、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:02	全体の的な工程の管理をやっているのが到底経営管理課でございます。経営権検査については各保修から上がってくる。
0:18:17	aですとか自分の所管する定期事業者検査、定期工程管理からの全体的な工程の中の一部自分の持つて初層する定期事業者検査の工程を管理してると。
0:18:35	いうふうな違いでございます。私からの説明は以上です。
0:18:40	ツカベです。説明よくわかりました。
0:18:45	次の 6 ページ目の方の計画管理課のところなんです、
0:18:51	ちょっと私のイメージは当直長というのは、決まった作業を基本的にはするのかなと思っているんですが、今回その区域図の作成みたいな、
0:19:04	局長のところのみずからするようにも読めるんですか。
0:19:13	みたいなところっていうのは、当直長の
0:19:16	業務になるんでしょうか。
0:19:26	直電力赤坂です。申し訳ございません。ちょっとノイズが乗ってしまいましたが一度ご質問おい
0:19:33	いただいても問題ないでしょうか。規制庁ツカベですと、系統管理課が今行っているその隔離の工程とか、あと区域図の作成というのは、ある種そのさっき計画作業計画みたいなものを作る。
0:19:50	という行為になると思うんですが、それがその硬直業務ということに当たりますかと。
0:19:58	いう質問です。
0:20:04	四国電力の中村です。おっしゃることは理解いたしました。系統の工程定検に伴う隔離工程とか小文字の作成ですね、具体的な提携定検の状況を見ますと、
0:20:21	通常は当直運転監視業務をやっておりますが、定検になるとですね今言い方で言いますと 6 直の 2 交代で 6 直でやってますがそれを 5 直 2 回ちょっと国にしてですね、
0:20:38	その中で 1 直、
0:20:43	経験のおこつ残の作業を実施するというふうにやっております。その中で 1 億、当直長が頭になって専属で定検の業務をやると。その中で、その専属の当直長のもとで、
0:21:00	定検の隔離工程区分図作成等も行います。ですので、鑄造プラント監視している当直長がいて、トロリー専属の隔離工程。
0:21:16	区分図を検討する。当直長がああいうと、いうふうなので定検の方は作業を実施します。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:26	通常のプラント運転中になりますと、当然定検のような大掛かりな隔離以降でJ等はありませんから、Rという1から日方針の崩壊が隔離するので、それについては10分僥倖
0:21:43	運転中の当直長の中で業務ができると。
0:21:47	教育カーで現在もやってるというふうな状況でございます。私からの説明は以上です。
0:21:54	規制庁ツカベ
0:21:57	では、
0:21:59	実際その中操に入られてる当直の方が、それ以外の作業ではないですと。
0:22:05	いうことで理解しました。一方、今回、
0:22:10	変更前後で見ると、
0:22:12	当直業務を行うとなっていて、当直業務というのは、
0:22:18	どっかで定義されてるんでしょうか。
0:22:26	四国電力の中村でございます。どっかで保安規定で小口径の中で協議してるということでしょうか。それとも等保安規定の三条で規定します。20文章の運転総括内規の部分については、当直業務とはというふうに、
0:22:45	研究はしております。
0:22:47	ですので、保安規定等で当直業務と言うのはもう今現行の比較的出せるように、原子炉施設の運転に関する業務と当直業務という記載委員のみでございます。私の説明は以上です。
0:23:09	業務というのは保安規定では、ここの保安に関する職務のところに書かれていて、具体的には下部規定と書いてありますので、
0:23:20	先ほど言われていたような、
0:23:22	法廷とか、
0:23:24	の作業をすることも、
0:23:27	当直業務にその下部規定等では含まれた形。
0:23:32	整理されるという理解でよろしいですか。
0:23:36	四国電力の中村です。理解で我々、私もその理解です。
0:23:43	以上です。
0:23:46	アクセルを使われるとわかりました。
0:24:08	原子力規制庁フジモリですけど、DG等、
0:24:13	一つ今回系統管理課長の方の業務。
0:24:18	が、その当直業務ですべて今の
0:24:21	業務内容が、
0:24:23	含まれているっていうのはなかなかちょっと読みにくい気はするんですけど。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:28	そもそもちょっとこの系統、
0:24:32	発電課長がその当直課長の植木って、この発電課長の職務は今になってるんでしたっけ。
0:24:41	そこの変更は何も必要ないっちゃうことなんですか。
0:25:12	各電力赤坂です。
0:25:14	本丁寧に記載のありますが、発電課長に関しては、総括業務となりますと、各当直の総括業務となりますので、変更等はございません。
0:25:26	以上となります。
0:25:29	四国電力の中村です。具体的にバス等の保安規定の五条。
0:25:36	25 ページの発電課長は、原子炉施設の運転に関する総括業務を行うと、その下の 6 項で発電当直発電か当直長及び原子炉の出力運転に関する、ちょっと行うと。
0:25:51	健康ファイブスクラムな行動検討会に課長は、原子炉施設の検討会に関する当直長が実施する部門の職員が行うというふうに記載をしておりますので、活動課長は、
0:26:06	転換する部分の所轄業務というふうな整理でございます。
0:26:12	私からの説明は以上です。
0:26:19	はい。原子力規制庁フジモリですけど。
0:26:23	やっぱりさっきの当直業務とだけその職務に書いてあってその中で
0:26:31	さっき工程、
0:26:33	区分しつつ作成等、
0:26:36	含まれているっていう説明なんですけれども。
0:26:42	さっき言われたその下部規定ってどこで、
0:26:47	この系統、今具体的行な業務内容って書いてあるのが、
0:26:53	下部規定に定められている、そのままの内容NaFっていう理解でいいんでしたっけ。
0:27:01	違う扱いにする、その理解で問題ございませんよとなります。
0:27:07	すいません四国電力の中村です。ちょっと追加で言いますが、本規程の上の運転管理業務、これし、今年の 4 月に新しく運転管理業務とは何ぞやということで新しく記載充実した箇所でございます。
0:27:27	これがその当直がやっている業務。
0:27:32	ですので、その中で、当社については当直長等あと系統管理課長がやってましたんで、現在の記載では当直長または系統管理課長はという主語になっておりますが、ここも当直長だけだと。
0:27:48	いう考えでございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:51	私の説明以上です。
0:27:53	規制庁フジモリですけど今の 17 条の 2 っていうのはどっかに説明が書いてあるんですか。
0:28:00	じゃあ、課長の鈴木です。これはパターンと同様である 7 ページ。
0:28:06	通し番号の中からしますので、
0:28:09	11、8 ページです。
0:28:16	その 12 条。
0:28:21	12 条の 2、
0:28:24	令和っていうのはその運転管理、
0:28:33	はい。
0:28:34	ここの通し番号 21 ページを見ますと変更リスト当直または検討会以降、右方ですけど、当直長または系統管理課長は原子炉施設の運転操作を実施すると。
0:28:49	その下の当直長または検討管理課長はと。
0:28:53	今後当直長だけになりますので、委嘱が当直長と、
0:29:00	いうふうにあって、水素濃度当直長等の健康管理課長の業務としては違いはないと。
0:29:07	いうことでございます。
0:29:14	私の説明は以上です。
0:29:20	はい。規制庁フジモリですけど。
0:29:22	その当直業務が何かっていうのはやっぱりわからないんですねこの運転管理業務、
0:29:28	まあまあやると書いてありますけど、
0:29:30	運転管理業務じゃなくて職務としては当直業務だけになっていて、
0:29:35	当直業務と運転管理業務、
0:29:38	の方が角形。
0:29:40	がよくわからないんですね。
0:29:51	四国電力中村です。当直業務意向論点管理業務、運転管理業務をやっているのは当直ですよと。
0:30:03	ということです。
0:30:05	もっと細かなことについては、先ほど言いました 20 文章でそれぞれ記載していると、丸いの減。そのうち文章では当直業務等を系統管理業務と
0:30:23	今に分かれています。
0:30:26	その両方一緒に当直業務というふうに運転管理業務ということでやるということです。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:34	ですので保安規定上についてはそういう記載は今現在はないということになります。
0:30:42	私の説明になってないかもしれません。以上です。
0:31:15	使っちゃうとしても、
0:31:17	当直長の業務
0:31:20	内容、
0:31:52	四国電力の中村ですが、通しページの順。
0:31:59	実際、
0:32:00	FP10 分時、
0:32:03	次に、その他の反射法がおっしゃってるのは、変更は後でいいですから、保安規定部会に規定する業務内容で、原子炉施設の運転に関することで、
0:32:18	これは当直業務なんですかって多分聞かれてると思うんですが、これを総称して関係当直業務と書いてますが、原子炉施設に関する心が通常の先ほどの主蒸気の運転管理業務、
0:32:39	ですから、この当直業務等の事項の運転管理業務、
0:32:44	ただ昔から裏書きが当直長と私年加藤局長なので、これは当直業務と、いうふうに記載しているのが、現在でも未定の形でございます。
0:33:01	しっかりと説明をいただき、
0:33:05	四国電力石井です。比較をいたします。本店においては当直長が実施する業務は各条文で、当直長はと始まっているものになります。例えば巡視点検とか、運転上の制限であれば、サーベイランスそれから事故時の対応、これにおいて当直長はという手法で、
0:33:25	始まる業務がございます。で、それらを取りまとめたものが 12 条の 2 の運転管理業務ということで、こちらの方には巡視点検のことや、警報発信の対応とか、事故時の対応とか、こういうことを取りまとめて書いた総称へと書いた
0:33:44	業務というものの記載になります。
0:33:47	以上でございます。
0:33:52	規制庁フジモリですけど、そうすると先ほどのちょっとツカベの質問に戻るんですけど、
0:33:59	当直教務てそのじゃあその工程管理もやってるってところが、なんかその当直長はで始まる資料の
0:34:08	ところでどっか書いてあるんですかね。
0:34:11	当直業務というやっぱり運転操作っていうか本当の現場での

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:15	作業っていうか、それぐらいしか思い浮かばないんですけど、そういう全体のその工程管理みたいな場で当直業務としてやって、その人がやるっていうのが、先ほど説明では、人分けて当直長、
0:34:33	実際当直する人と工程管理する人分けてやるっちゃうことなんですけど。
0:34:38	そこがいまいちちょっと
0:34:40	イメージがつかないっていうか、当直業務ですね。
0:34:45	そこはどっかその当直長はのところで説明があるんですかね。
0:34:53	四国電力高坂です。先ほどAc弊社中村からも
0:35:03	お伝えしましたが、第12条の2の運転管理業務、
0:35:07	のところにですね。
0:35:11	通しページでいうと11ページになります。
0:35:15	そちらの変更後の列を見ていただきまして、
0:35:21	12第十二条の2の(2)、
0:35:25	(3)に関しては当直長はということで、運転操作の中に系統管理を含む
0:35:32	やはり(3)でありましたら、同じく当直長はということで、関係各課長の依頼に基づき、運転操作括弧系統管理を含むということで系統／に関しての
0:35:46	工程の管理についてもここで記載はさせていただいております。以上となります。
0:35:59	四国電力の中村です。今高須から申しましたように当直においても東海業務を現在もやってます。これ先ほどツカベさんの人時にも言いましたが
0:36:15	通常の日常補修とかのOK等の管理ですね、そういった不合格に復旧確率等に伴う作業のときも、当直長がやってますんで、実際kAの日ますと、当直長は自己
0:36:33	事故対応が当然ですけども、通常のプラントの系統の管理状態にすると、もう一番頭は当直長でございますが、当直長の許可がないと、閉めても作業ができないと。
0:36:48	ですので現在ですと系統管理課長が承認したものについても、当直長の許可がないと確認できないというふうになってますので、
0:36:59	当直長が、チェンジングが研究の中で、プラントの系統状態が常に監視していると、当直長の指揮つきE監視のもと、プラント挙動を管理をやっていくと。
0:37:18	ということでございます。
0:37:23	規制庁フジモリですけど、説明はわかりました。はい。
0:37:39	成長させたですけども、今のご説明いただいた例えばパワーポイント6ページのその表のもうちょっと細かい説明というか、
0:37:50	率直でこういうことですよっていうのとかもちょっと表詰めたりして、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:57	追加で説明していただいたこの表に追加するなりとか、あと次の
0:38:06	通しページだと 10 ページとか 11 ページですけど、11 ページも結構余白空いてるので、
0:38:14	取り消し、
0:38:16	とりあえず、
0:38:23	原子力規制庁フジモリつけて
0:38:25	今のは取り消しますって言って結構です。
0:38:31	はい、どうぞ。
0:38:36	なければこちらからの質問は以上です。
0:38:45	四国電力とツカベする承知いたしました。
0:38:49	あと、こっちの
0:38:56	八鹿JISが四国電力の中村です。
0:39:00	はい。とりあえず一旦ヒアリング一環。
0:39:05	切手とは言えんで、はい。ヒアリングはいっぱいあろう終了します。ありがとうございます 垂直電力ECCSすいません一つよろしいでしょうか。はい、どうぞ。
0:39:19	これはあれですね、この組織変更を令和 3 年 3 月 1 日に行いたいと考えております。ですので、我々の認可希望としては 2 月の下旬にいただければありがたいと思ってるんですが、その辺の肯定感とかはいかがでしょうか。
0:39:36	はい。頑張りますと。
0:39:39	はい。歯科医院すいません、よろしくお願いします。四国電力Cです。よろしくお願いします。
0:39:46	では、ヒアリングを終わります。ありがとうございました。
0:39:51	ありがとうございました。
0:39:54	ありがとうございました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。